専門教育科目　講義科目

科目名：	カウンセリングの理論	科目コード	EB38
		単位	4
科目主査：	末﨑 裕康　　担当講師： 高桑 将太、中村 菜津子、末﨑 裕康	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

近年，カウンセリングという言葉は，より一般的なものとなり，カウンセリングに関する興味･関心も高まりを見せています。一方カウンセリングで扱う対象は人間のこころです。目に見えないものを扱うことやカウンセリングの効果が客観的に示されることが少ないことなどを理由に懐疑的な立場を取る人々も少なくありません。本科目では，より適切かつ妥当な方法で，カウンセリングの基本的考え方やカウンセリングで思考する心理療法とその背景にある理論を理解し，心理検査法と代表的精神疾患の特徴を学習します。

履修の前提となる科目	☑ あり ☐ なし	科目名： 「心理学」（配本～2021年度）や「心理学概論」、または「一般心理学」を通信授業にて履修していることが望ましいです。
履修の前提となる知識 その他特記事項	心理学に関する幅広い知識を有することが望ましいです。	
テキスト	『基礎から学ぶカウンセリングの理論』 山蔦 圭輔，産業能率大学出版部，最新版	

この科目の 到達目標	①カウンセリングの諸理論について理解し，理論にもとづく実際の治療方法を説明することができる。 ②日常的な心の働きや行動，現代社会における出来事などについてカウンセリングの理論を通して分析・考察することができる。 ③カウンセリングの理論や技法を理解し，それを実生活へ活かすことができる。
成績評価 の 方 法	成績評価は，以下の通り，１日目講義終了後に課される課題の提出ならびに２日目講義終了後に課される最終試験の結果に基づき行うものとします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	カウンセリングや心理療法，臨床心理学に関する各種文献を参照し，今回のスクーリングで学んだ内容を精緻化してください。 また，日常生活における現実的な現象を各種理論に基づき分析し，理解を深めましょう。
事後学習の 参考文献	『カウンセリングの理論』國分 康孝，誠信書房，1981年 『カウンセリングの技法』國分 康孝，誠信書房，1979年 『こころの健康を支える 臨床心理学』山蔦 圭輔，学研メディカル秀潤社，2012年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。